

# 第1学年：家庭科

7月

JA 東京みらい・地元農家

ねらい：調理実習の材料に旬の東久留米市産野菜を使い地産地消を  
実践し地元生産者との結びつきを深め消費者としての意識も  
高める。

- 自己有用感を高める
- 他者と協働する力を高める
- 学校や地域の一員としての自覚を持たせる
- 様々な活動に意欲的に参加できるようになる

## 事前学習

- ・包丁の基本的な扱い方を確認する。
- ・野菜のいろいろな切り方を確認する。
- ・きゅうりの旬を知る。

## 調理実習

- ・一人一人、きゅうり一本で7通りの切り方を実習する。

## 事後学習

- ・旬の野菜について調べる。
- ・東久留米市で生産されている野菜を調べる。
- ・旬の野菜の入手方法を考える。
- ・旬の野菜を使って調理レポート製作する。

### 成果

- ・調理実習を通して豊かに東久留米市で野菜が生産されていることを確認できた。
- ・地元農家の協力を自覚し、地産地消の意識をもてた。
- ・実習用野菜提供農家が生徒の家の近所であり、学校の防災訓練でお世話になった消防団員の方でもあり、地域との結びつきを感じられた。

### 課題

- ・東久留米市の農家の野菜を調理実習で利用するために直接取引できる農家が少なく、JA 東京みらいを通して協力を得た。当日の朝に納品されることや、注文量を生徒数に合わせるなどが難点になっている。

